

令和4年5月9日

関係各位

岩手県高体連剣道専門部
部長 根 反 馨

第74回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技開催に係る新型コロナウイルス感染防止ガイドライン及び、連絡事項について

1 大会開催に当たって

本大会は、「全日本剣道連盟令和3年6月21日付けガイドライン（以下、全剣連ガイドライン）」「全日本剣道連盟令和3年8月2日付けガイドライン（以下、大会ガイドライン）」「全国高体連剣道専門部申し合わせ事項」及び「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」の内容を遵守し、参加者全ての安全を確保しつつ実施するものである。また、本ガイドラインの作成にあたっては、令和4年4月18日付けの「第74回岩手県高等学校総合体育大会のコロナ対応について」の「開催判断基準」「参加にあたっての確認事項」に準じて作成するものとする。参加に当たって各校顧問は、その内容を熟読し、よく理解の上、生徒へ周知・徹底すると共に、生徒の健康を第一に考えることが最重要である。

2 全国高体連からの指示内容

(1) 【特に試合者に事前に指導する事項】

- 1 試合者はつば（鏢）競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技及び体当たりからの技（発声を含む）を積極的に出す。つば（鏢）競り合いになった瞬間、技が出ない場合にはただちに積極的に分かれる。試合者は審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく試合者双方で分かれる努力をする。
- 2 意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近する様な行為は規則第1条に則り反則を適用する。
- 3 試合者は、分かれる場合は主審の「分かれ」の宣告、あるいは試合者双方で分かれる場合にかかわらず、剣先が完全に触れない位置までお互いに分かれる。
- 4 分かれる場合は剣先を開いたり、下げて分かれぬ。
- 5 分かれる場合は双方がバラバラに下がらない。双方同じ気位で互いの鎧を削るようにして分かれる。
- 6 相互に分かれようとしている途中で技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突した場合や分かれようと思わせて打突する行為は反則を適用する場合がある。
また、分かれる途中で相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしない。
(審判員は状況や原因を踏まえた上で合議により判断する)
- 7 マスクとシールドの着用
マスクは、口鼻を隠し、正しく装着する。シールドに関しては、口を覆うものは必須とし、目を覆うものは自由とする。

(2) 延長戦の試合時間について

「面マスクによる熱中症防止」の観点から、「従来の勝負が決するまで時間を区切らない」を廃止し、以下の通りとする。

- ア) 延長戦を4分とする。
- イ) 延長戦は、2回連続して実施し（8分間）、「休息」を2分とする。
- ウ) 原則として「休息」は、試合場内で行うこととする。
- エ) 再開し、同じく延長戦を2回実施し（8分間）「休憩」を4分とする。
- オ) 原則として「休憩」は、選手席に戻り、面小手を外して、水分補給等が可能である。
- カ) これ以外の場面でも、試合者の体調が不安な場合は適宜休息・休憩を入れる。

3 開催判断基準、参加にあたっての確認事項について（※岩手県高体連の通知に準ずる）

(1) 開催判断基準 実施の可否は、以下の事項をクリアしていることを基本とし判断する。

- ア) 国や県からスポーツイベント等の中止の行動制限がかけられていないか。
- イ) 県から感染対策として県又は市町村に行動制限がかけられていないか。
- ウ) 県教委から学校生活及び部活動について、制限がかけられていないか。
- エ) 中央競技団体から示されているガイドライン等と照らし合わせ、問題がないか。
- オ) 県競技団体から開催について、承諾が得られているか。
- カ) 会場施設管理者から開催について、承諾が得られているか。

※ なお、競技大会開催前にコロナ感染の影響により、多数辞退する学校（概ね3分の1）がある場合は、大会開催について専門部で検討し判断する。また、検討結果について高体連事務局に報告することとする。

(2) 競技参加について

- ア) 参加申込の前に、生徒本人と保護者の参加意向を確認しその意向を尊重すること。
- イ) 引率責任者は、参加する生徒の健康状態（検温・体調）を把握し、体調管理を徹底させること。
- ウ) 宿泊が伴わない参加が望ましいが、やむを得ず宿泊を要する場合は、部員同士及び、他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止の配慮をすること。
- エ) 大会期間中に発熱した選出については、すぐに隔離のうえ、医療機関を受診し、医師の判断を仰ぐ。また、引率責任者は該当選手との接触者の特定をし、専門部の大会運営本部に報告する。

(3) 感染陽性者及び濃厚接触者等の対応について

- ア) 感染陽性者は大会参加不可。保健所及び医師から指示された健康観察機関（自宅待機）の解除後も、喉などの身体症状が残る場合は、大会参加を自粛するなど、学校で適切な対応をすること。
- イ) 濃厚接触者については、PCR 検査や抗原検査で陰性であっても、保健所で指示された健康観察期間（自宅待機）は、大会に参加することができないものとする。
- ウ) 濃厚接触者の疑いがあり、保健所等から「濃厚接触者に該当しない」と判断されるまでは、体調にかかわらず、大会参加を見送ること。
- エ) 学校が休校措置になっている場合は、チーム及び個人（生徒）の大会参加を見送る。また、学年閉鎖、学級閉鎖になっている場合は、当該学年、学級に所属する生徒の大会参加を見送る。チーム内で大会一週間前から前日までに部活動が起因する小規模クラスターが発生したチームは、大会参加を見送ること。

4 大会参加の詳細な基準等について

(1) 生徒の参加について

- ア) 参加出来る生徒は、「選手」「部員（選手以外の生徒）」「補助員生徒」とする。
- イ) 各校顧問は、参加について保護者から同意を得ること。
※得られない場合は、参加できないこととする。
- ウ) 参加の意思確認は、参加（選手・応援・補助員）同意書【様式1】を提出すること。
※同意書は、事前に配布され、各家庭で記入・押印後、顧問がまとめて大会当日受付に提出する。

(2) 生徒の健康チェックについて

ア) 以下の場合には参加を見合わせるものとする。

①来場前

- ・息苦しさや倦怠感、発熱などの強い症状がある場合。
- ・基礎疾患がある生徒で発熱や咳などの比較的軽いかぜ症状がある場合。
- ・味覚や嗅覚に異常が感じられる場合。

②来場時

- ・体温が37.5度以上の場合。

イ) 大会参加確認書【様式2】の提出について

①当日、各校顧問は参加生徒を検温し、【様式2】に必要事項を記入の上、【様式1】と併せて受付に提出すること。

(3) 生徒以外で大会参加・来場できる者

- ア) 大会役員（外部役員を含む）
- イ) 引率者・部活動顧問（当該校教職員）
- ウ) 監督（当該校学校長より依頼された者を含む）
- エ) 外部指導者、外部コーチ（当該校学校長より依頼された者）
- オ) 写真業者（事前に申請のあったものに限る）

5 大会運営について

(1) 大会日程について

○5月19日（木） 10:00 開 場
11:00 令和4年度岩手県高体連剣道専門部会 ※全顧問出席
13:30 受 付（14:00までにB表・オーダー表提出）
14:30 監督会議（県営体育館 会議室）
18:00 閉 場（練習終了）

○5月20日（金） 8:00 開 場
※試合会場での練習は、9:30まで原則女子限定
9:00 審判会議（県営体育館 会議室）
9:40 開始式（開会宣言）
※諸連絡あり
10:00 競技開始
1 女子個人戦 ベスト8残し（1～6試合場）
※試合会場での男子選手アップ（30分間）
2 男子個人戦 ベスト8残し（1～6試合場）
17:00 競技終了
18:00 閉 場（練習終了）

○5月21日（土） 8:00 開 場
9:00 審判会議（県営体育館 会議室）
9:30 競技開始
1 女子個人戦 ベスト4残し（1～4試合場）
2 男子個人戦 ベスト4残し（1～4試合場）
3 女子個人戦 決勝リーグ（1～2試合場）
4 男子個人戦 決勝リーグ（1～2試合場） ※個人戦表彰式なし
※ 個人戦終了後、団体戦アップ30分間
12:30 5 女子団体戦 予選リーグ・ベスト8残し（1～6試合場）
6 男子団体戦 予選リーグ・ベスト8残し（1～6試合場）
17:00 競技終了
18:00 閉 場（練習終了）

- 5月22日(日) 8:00 開 場
9:00 審判会議(県営体育館 会議室)
9:30 競技開始
- 1 女子団体戦 ベスト4残り(1~4試合場)
 - 2 男子団体戦 ベスト4残り(1~4試合場)
 - 3 女子団体戦 決勝リーグ(1~2試合場)
 - 4 男子団体戦 決勝リーグ(1~2試合場)
- 16:00 閉会宣言 ※閉会式・表彰式は実施しない

(2) 練習時間について

- 5月19日(木) 12時00分~18時00分
○5月20日(金) 8時00分~ 9時30分 ※女子個人戦選手限定
女子個人戦ベスト8決定後、男子個人戦選手アップ30分間
競技終了後~18時00分
○5月21日(土) 8時00分~ 9時20分
個人戦終了後、団体戦アップ30分間
競技終了後~18時00分
○5月22日(日) 8時00分~ 9時20分

(3) 競技について

ア) 試合について

- ①試合順番 ※別紙参照
- ②試合時間 「個人試合」4分、延長は「2(2)」の通り実施する。
「団体試合」4分、延長無し、勝負の決しない場合は引き分けとする。
- ③試合方法 ※実施要綱参照

(4) 竹刀検量について

ア) 本大会は、「竹刀検量」を行わないこととし、各顧問は以下のことに留意すること。

- ①各校顧問が竹刀の点検し、安全管理を徹底して行うこと。
- イ) 「不正竹刀」の使用が無いよう以下の指導を徹底すること。
 - ①長さ、重さについて
 - ②先皮、中結い、弦、柄等の部品について
 - ③「先皮の太さ」「ちくとう部の太さ」について(可能であれば)

ウ) 明らかに「不正竹刀」と認められる時の処理について

※明らかに故意に不正竹刀を使用したと認められる場合は、没収試合を検討することもある。 例) 3尺9寸竹刀の使用

(5) 監督会議時の注意事項について

ア) 会場は、「1F 会議室」で、「14時30分」開始。※時間厳守

尚、受付時間 <13時30分から14時00分まで>を厳守のこと。

※A表とB表とオーダー表の読み合わせ作業がある。

イ) 団体戦「B」表を受付に提出のこと。

- ①A表で登録済みの選手以外の登録(登録選手変更含む)は、監督会議時の承認が必要となる。

※受付時に赤寄まで相談のこと。

- ②緊急の変更以外は、予め赤寄まで相談すること。※校長名で登録選手の変更願いを作成のこと。
- ③B表は、赤寄まで送信は不要。

ウ) 団体戦「オーダー表」を受付に提出のこと。

①男子：黒、女子：朱であること。※プリンター等で作成したものも可とする。

②用紙サイズ：横90.0cm、縦24.0cmとすること。

(6) 会場使用について

ア) 会場の使用制限について

①選手・部員は、一階と二階の行き来を自由に行える。

②但し、部員が応援する際は、二階観客席を使用する。(※試合場付近での応援は、厳禁)

尚、観客席に座る時は、前後に【一列分の空間】を設けること。

③引率者、外部コーチについては、制限を設けない。(※外部コーチとは、学校長から依頼されている者をいう。)

④試合前のアップは、【団体戦B表登録選手】と【個人戦出場選手】とする。尚、朝のアップは生徒のみとする。

※個人戦一名での参加の場合は、練習相手一名か他校に練習相手をお願いしても良い。

イ) 会場への入場・退場は、以下のとおりとする。

①監督・引率者・コーチ・選手・部員の入退場口は、2階入り口のみとする。

※朝の入場時、7時50分まで入り口付近に並ぶことを厳禁とする。

②朝の入場以降の入退場は、2階の出入り口を利用すること。

③入場退場に制限をしないが、なるべく外部との行き来を控えること。

④保護者等の無断入場が発覚した場合は、当該校へ厳しい指導を行うものとする。(※悪質な場合は出場権の剥奪など)

ウ) 生徒の車等への乗降は、体育館正面の駐車場で行くことを原則とする。送迎等、周辺施設への駐車は厳禁とする。

バスの待機場所は、原則運動公園駐車場とする。但し、引率者(試合会場に入場を許可されている者)が運転するマイクロボス等は、敷地内の駐車を許可する。【別紙】駐車場案内参照

※バス・タクシーの運転手、送迎の保護者などに指示徹底をすること。

エ) 剣道具等の荷物は、2階通路及び2階ランニングコースに置くこととする。

但し、紛失等の責任は負わない。(※観客席座席は禁止)

オ) 2階入り口より、土足を厳禁とする。(各学校で靴袋を用意)

カ) 会場内のコンセントは、使用禁止とする。

(7) マスク・シールドについて

ア) 試合中は、「面マスク」「シールド(口元)」を必ず装着すること。

イ) 試合前後のマスクについて

①次試合控えに待機時から、面マスクを着用すること。

②団体戦の始めと終わりの整列時は、面マスクを着用すること。

ウ) 試合以外の時間帯のマスクについて

①常にマスク(販売されている物)を着用すること。但し、面マスクも可とする。

(8) その他

ア) 感染症対策

①消毒、うがい、手洗い等の健康管理をこまめに行うこと。

②不必要な密接を避け、ソーシャルディスタンスを意識すること。※短時間のミーティング、円陣等はこの限りではない。

イ) 「写真付きプログラム」は予約販売とする。

ウ) 試合審判規則変更に関わるることについて

①剣道着、剣道具：従来通りとする。

但し、あまりにも見苦しい時は、大会終了後に監督を通じて通達する。

エ) 写真業者の許可について

①申請された学校のみ許可する。 ※撮影日当日、提出すること。

(9) 上位大会出場枠について

ア) 東北選手権大会出場枠について

- ・団体出場枠は、**ベスト4の4校**とする。
- ・個人出場枠は、**ベスト8の8名**とする。

イ) インターハイ出場枠について

- ・団体出場枠は、**優勝校の1校**とする。
- ・個人出場枠は、**優勝、準優勝の2名**とする。